

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年3月7日				
リトルグリーンバード ねさぶ教室						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・活動によって外に出ている。 ・活動内容によって机等を移動し、活動スペースを確保している。	スペースに合わせた活動内容を考える。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	職員の休みが被らないように気をつけている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	5	子どもに分かりやすい環境を整えている。	バリアフリーな環境にはなっていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	夕方子ども達を送迎したら、教室を清掃している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	静養できる場所を設けており、必要に応じて使用する事が出来る。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	スタッフ間でミーティングを行い、振り返りをしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者からの意向を把握し、改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	スタッフ間でミーティングを行い、意見が言える機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	毎月全スタッフで研修する機会を設けている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	曜日によって利用者が異なるため、バランスを考えてプログラムを作成し、公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	申し送り時に保護者にニーズを確認したり、必要に応じて書面で保護者に確認している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	全スタッフで定期的に支援計画を見直し、新たに課題が見つければ支援計画に組み込んでいる。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	毎日支援内容を記入している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	検査結果に基づいて、アセスメントを作成するように努めている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	保護者の意向も伺いながら、個別支援計画書に反映し、日々の療育に努めている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	毎月各スタッフがプログラム案を提案し、プログラム作成者がバランスを見て、活動プログラムを作成している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	児童ミーティングを開き、子ども達からの意見も活動プログラムに反映している。また、他教室のアイディアも参考にしている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	活動プログラムに合わせて適切に役割分担をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	毎日支援内容や児童の様子を記入し、共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	支援計画書の更新のタイミングで保護者からも聞き取りを行って見直しをしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	スタッフ間で情報共有し、そのこどもの状況をよく理解したスタッフが参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	園での様子を伺い情報共有している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	5		対象者はいるが、まだ各学校と連携を行っていない。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	0	5		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	地域の子ども達が企画・運営したイベントに参加した。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	児童デイサービス専用電子ソフト（HUG）や電話やメールを活用して、情報を共有している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	5		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		今後家族会の開催を予定している。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	月間のおたよりを発行し、文章や写真で情報を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	相談支援員など第三者も含めて情報を発信している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		状況を見て交流を増やしていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	定期的にマニュアルを開き、対応方法を見直している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	定期的に各災害の避難訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	保護者に災害発生時等における基準について文書を配布し、周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止委員会を設置し、年2回研修を受けている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	0	5		事前に説明はしているが、支援計画書に記載までは至っていない。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 リトルグリーンバード ねさぶ教室

公表日 令和7年3月7日

利用児童数 4

回収数 4

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	1	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	1	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3	0	0	1	まだ入ったばかりで、母親自身がよくわかっていないところが多いです	送迎時やモニタリング時に、リトルでの様子や特性に応じた支援をしているか、情報共有していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3	0	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	0	0	2		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3	0	0	1	利用し始めたばかりなので、この質問はわかりません	集団活動以外にも、隙間時間を利用し個別の活動を取り入れたり、ミニ活動（読み聞かせ、間違え探し、脳トレ等）を行っています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0	2	0	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1	1	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	0	2	0	2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3	0	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	1	1	2		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	1	0	2		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	0	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	0	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	1	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	1	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2	2	0	0	クッキングした！など楽しかった話をよくしてくれている	安心して楽しく通える場所として、活動内容を充実させ、「リトル行きたい」の気持ちに繋げていきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	0	0	0	2階の部屋に何が置いてあるのか気になる	2階は事務所があり、書類や療育物品の保管場所として使用しています。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス リトルグリーンバード ねさぶ教室			
○保護者評価実施期間	2025年 1月22日 ～ 2025年 2月21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○従業者評価実施期間	2025年 1月22日 ～ 2025年 2月3日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月25日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	トイレトレーニングをしている未就学児が多いが、失敗してもお風呂場があるためすぐに洗い流すことができ、清潔を保つことができる。	・トイレとお風呂場の距離が近いので、失敗しても他児に見られることなくお風呂場へ誘導できる。 ・トイレの中に好きなイラストや写真を貼り、抵抗感を軽減する工夫をしている。 ・好きな物を活用してトイレ誘導を行っている。	・個々のタイミングに合った声かけ。 ・トイレに対するポジティブな印象を持たせる。
2	活動プログラムが固定されないように工夫している。	集団活動以外にも、隙間時間を利用し個別の活動を取り入れたり、ミニ活動（読み聞かせ、間違え探し、脳トレ等）を行っている。	個人の弱み強みを把握し、スタッフや他児との関わりを通して伸ばしていく。
3	事業所の支援に満足し、安心感を持って通所することができる。	・児童デイサービス専用電子ソフト（HUG）を活用しておたよりを配信する事により、文字だけでは伝えにくかった様子も写真で伝えることが出来るようになった。	・児童デイサービス専用電子ソフト（HUG）の内容とは別に帰りの送迎時やメールを活用して様子を伝えている。 ・児童デイサービス専用電子ソフト（HUG）のおたよりを見て、子どもとの会話のきっかけになるように写真を選別し添付する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会が開催出来ていない。	1度保護者会の開催を試みたが、参加人数が少なく開催を見送った。	・保護者会の内容がイメージしにくいので、他教室で開催した様子を写真でお伝えし、保護者会のイメージを持ってもらう。 ・電子のみで事前に他の保護者に聞きたい質問を募ったが、回答が少なかったため、紙媒体でもアンケートを実施する。
2	地域交流の場が少ない。	・事業所は豊見城市にあるが、利用者は那覇市在住のため、地域交流がしづらい。	・広報誌や地域の掲示板を見て、交流できるイベントには参加する。他教室や地域自立支援協議会から情報を得る。
3			